

# 越境人

2015  
AUTUMN vol.12

コリア国際学園 広報誌

特集1 KISの南太平洋・フィジー留学プログラムの魅力を探る！

特集2 立命館大学「シチズンシップ・スタディーズⅠ」の活動

～多文化共生ネットワーク 地域・コリア・イスラムをつなぐ

特集3 <ダイアローグ> 組織の「劣化」「成熟」とは!?

～祖母井秀隆さんと酒井常雄さんを囲んだ「大人の哲学カフェ」





デザイン:尹 浩子

## 2 特集1 KISの南太平洋・フィジー留学 プログラムの魅力を探る!

- ① KISフィジー留学プログラムの概要
- ② KISフィジー留学プログラムの特長
- ③ フィジー・ビセイセイ村で日韓映画祭を開催
- ④ KISのフィジー留学に関わって
- ⑤ 留学生VOICE

## 12 特集2 立命館大学シチズンシップ・ スタディーズの活動 ～多文化共生ネットワーク コリア・イスラムをつなぐ～



越境人 2015年秋 第12号  
・発行日 2015年10月16日  
・発行 学校法人コリア国際学園  
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1丁目13番35号  
TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401  
E-mail:contact-school@kis-korea.org http://www.kis-korea.org/

※越境人は年2回の発行です。※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。

## 16 特集3 <ダイアローグ> 組織の「劣化」「成熟」とは!?

～祖母井秀隆さんと酒井常雄さんを  
囲んだ「大人の哲学カフェ」

### 20 ACTIVITY REPORT

- ・<特別授業> 駐日パプアニューギニア(PNG)大使の講演会を開催
- ・中等部2年韓国研修／高等部2年カナダ研修を実施
- ・東日本大震災ボランティア活動に参加
- ・授業参観と焼き肉昼食会／保護者会給食を実施



DAIGEN Co.,Ltd.

株式会社ダイゲン 代表取締役社長 梅村忠幸

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL.06-6943-0081(代) FAX.06-6943-6370

第一元観光株式会社

■プレジール森ノ宮店  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6941-3344  
■プレジール若草店  
〒579-8056東大阪市若草町4番6号  
TEL.072-987-2833 FAX.072-985-7465

株式会社プレジール玉串

■プレジール玉串店  
〒578-0932東大阪市玉串町東3丁目3番6号  
TEL.072-961-7800 FAX.072-962-9001

株式会社ブレイクスルー

■和食居酒屋 菜蔵  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6943-0895  
■九州料理 のぼせもん  
〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番11号  
TEL&FAX/06-6976-3355  
■BAR GIORNATA  
〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番14号  
TEL&FAX/06-7860-3175  
■釜のや.森ノ宮店  
〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号  
TEL&FAX/06-6910-6155



## 建学の精神

# 境界をまたぐ「越境人」に。

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換れば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園（KIS）は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園（KIS）は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

## 教育理念

### 多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

### 人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

### 自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

### ◆ 校章・シンボルマーク ◆



目であり  
宇宙であり  
太陽であり地球であり  
そして みつめていて、考えていて  
そして いつも ゆれている

### ◆ デザイン・文 ◆

黒田 征太郎 Seitaro Kuroda  
(イラストレーター)

くろだ・せいたろう ● 1939年大阪府生まれ。  
'92年にNew Yorkへ移住。イラストレーターとしてポスターなど幅広いアーティスト活動を展開。  
コリア国際学園の発起人のひとり。

### ◆ コメント ◆

色は 中心が 赤 (火) (光)  
その外が 黄 (アジア)  
その外が 草色 (地)  
その外が 青 (天であり水)  
としました



## KIS フィジー留学プログラムの特長

## 1. 名門・サンガムSKMカレッジへの留学

留学先は、フィジー西部地区の指折りの名門・サンガムSKMカレッジ・ナンディ校。インド系の学校で約1千名の男女生徒が学んでおり、全国20を数えるサンガム校があります。「サンガム」と言えば、一般のフィジー人は誰もが知っている学校です。KISとは、2014年1月に協力協定を締結し、その後同年7月に短期留学、そして翌年2015年1月から3名のKIS生徒が1年間の本格的な留学を始めました。この留学制度は、在日本フィジ大使館及びフィジー共和国教育省の支援のもとで、日本の教育機関としては初めてフィジーの高校との協力協定であり、単位の互換性もあるなどの恵まれた教育条件を整備しています

サンガムでの授業は真面目（厳しく）かつ自由でフランクな雰囲気のなか、プレゼンやグループ・ディスカッション、ピアラーニングも多く、そうした教授・学習スタイルが定着しています。一方で、授業内容をノートにしっかり書き記すことを徹底させます。

留 学 先	サンガムSKMカレッジ・ナンディ校
実 施 時 期	1月から12月初めまで約1年間
対 象 学 年	中等部3年（3学期初から）から高等部2年（2学期末まで）
単 位	単位の互換性あり。留学後にKISの該当学年に入る。
そ の 他	夏季休暇等を利用した短期留学制度あり。

※2015年度実績(若干変更の可能性あり)

## 2. 安心・安全／充実したサポート体制

フィジーでは、銃器などの所持や犯罪も欧米に比較して非常に少なく、国際観光都市として治安も安定しています。KISフィジー留学プログラムは、現地のフィジー教育省及び日韓両大使館の支援・協力のもと実施されているプログラムです。留学先のホームステイは基本的にサンガムSKMカレッジの教員室で、日常生活を親身にサポートします。

また、事故や病気などの緊急対応時には日本語と英語が堪能で、フィジーの生活実態に明るい日本人スタッフが対応してくれます。病気などで日常の看病が必要な場合にもシェルターホーム制度を整備するなど、安心した留学生活を送れるように充実したサポート体制を構築しています。

### 3. 英語力の向上に向けた有利な環境

英語力の獲得に不可欠な日常的な会話の機会が豪州、ニュージーランド、英米、カナダに比較して圧倒的に多い。それは親日・親韓意識が高く、気さくで人懐っこく、人と会話することを愛するフィジーの人々の際立つ国民性があるからです。欧米や豪州、ニュージーランドでは留学したものの、自ら能動的に働きかけないとそのまま孤独な1年を過ごすケースも少なくありません。

フィジーでは誰もがフランクに話しかけてくる社会的雰囲気があることでクイーンズイングリッシュ=英会話能力の飛躍的な向上を期待できます。TVメディア、国際放送、インターネットなどの充実で、今日では南太平洋地域の特有のなまりは若い世代や教職員、政府関係者の中ではまったく感じることはあります。

#### 4. 多様な教育資源と多文化多言語の環境

フィジー社会にはフィジー系、インド系の人々を中心に、その他奴隸狩り時代のマイノリティで構成され、アジア太平洋戦争における日本との歴史的な関係、多様な世界宗教の存在（キリスト教、ヒンズー教、イスラム教）など平和や環境、そして多文化共生を学ぶうえで多様な社会的テーマが凝縮しています。

現在フィジーには、南太平洋の中心国としてオセアニア地域の国際機関や国連機関なども集中しており、その国際性は際立っています。各国の大天使館や観光関連の現地駐在員、JICA（国際協力機構）、日韓中によるODA（政府開発援助）の現場が多数存在し、リアルな国際舞台を目の当たりにすることもできます。逆に国の規模が小さいことからより身近に顔の見える連携・協力関係を実感できるのです。

オセアニア州15カ国・地域が共同で運営する南太平洋大学(USP)も、フィジーの首都スバにあり、同地域の知と教育、文化、芸術をリードし、人材を育成する大きな役割を担っています。このようにフィジーにはKISの建学精神や教育理念を教育課題として生かすことができる多様で豊富な教育資源が集積しているのです。



同時に、南太平洋の国々（14カ国）で構成される地域協力のための国際機関・太平洋諸島フォーラムの事務局や、南太平洋大学（U S P）がフィジーに設置されていることからもわかるように、南太平洋地域の“ハブ国”といわれるゆえんである（人口構成は、フィジー人が約55%、インド系が約40%）。

協定話は、2013年3月8日、東京のフィジー大使館員（Juulia Korovou 参事官一行）の本校訪問から本格化、池田と英語科のジェレミー先生（当時）によるフィジー現地調査を経て、K I S 理事会は、姉妹校にSangam SKM Collegeを選び、同大使館およびフィジー教育省の協力を得、協定が実現した（日本でフィジーの学校と協定を結んだのはK I S が初めて）。

昨年の夏休みには、中等部2年生3名が、短期のフィジー留学を経験した。そして、今年1月には、3名のK I S 中等部3年生がS S K M C に一年間の留学へ。彼・彼女らは、現地も在籍中で、現地の生徒たちと一緒に正規クラスに編入、正規のカリキュラムに沿って、学んでいる。3名がK I S に戻った際は、原則とし

## リアルな社会を感じるための 体験学習プログラムを実施

留学生中の3名は、本年度、夏期二週間の休暇を利用して、最初のフィジアンの先祖が上陸したとされるフィジーで最も歴史のある村、ビセイセイ村に滞在、その歴史を体感するとともに、SSKMCで獲得した英語力を、ホームステイを通じ、実践的に活用した。

そして、その村に滞在中の8月26日には村の公民館において、「日韓映画祭」が、駐フィジー日本大使館と韓国大使館からの協力を受け開催、大成功をおさめている。映画祭当日、会場には村の子どもたちをはじめ150人を越える人々が集まり、日本のアニメ「ブレーブストーリー」や「韓国の世界遺産」などの映画が上映され、留学生3人は、司会進行を務め、自ら考えたクイズ大会も企画、実施し、好評を得た。

この企画には、駐フィジー日本大使館から、機材のみならず、大使館



(文責・フィジー留学チーム 池田大介)

職員も派遣され（今回の映画祭は、日本国外務省の「日韓国交正常化50周年」イベントの一つとしても正式に認定、外務省HPにも掲載）、同大使館が終了後に行つたアンケートには、継続して開催してほしいという要望がたくさん寄せられた。同村ホームステイ後には、首都スバにも移動し、U.S.P.スタッフディツアーティ、日本大使館への表敬訪問、また少数民族バナバ人の支援するNGO事務所など多様な場所を訪問し、充実したスタディツアーに参加し、